

新規会員の紹介

平成27年8月から平成28年7月の間に入会された会員の皆様を、入会順にご紹介します。

1. 法人会員

ダイワボウ情報システム株式会社高松支店

【企業紹介】

当社は、四国4県はもとより、全国46都道府県に90拠点を構える、ICT関連の総合ディストリビューター（流通商社）です。地域のICT事業者様を中心に、全国と地域の垣根を越え、モノと情報を提供する役割を担っております。

【四情懇に期待すること】

いつも様々な情報を提供頂き、また、当社イベントに際しては後援頂き、誠にありがとうございます。これからも、地域ICT産業発展のため、相互情報交換をお願いいたします。



メロディ・インターナショナル株式会社

【企業紹介】

私たちは医療と健康をICTで支える会社です。妊婦さんと赤ちゃんの健康管理プログラム“Melody i”を用いて、世界中の妊婦さんと医師のコミュニケーション・プラットフォームを構築します。安心安全な出産を全ての妊婦さんにお届けします。

【四情懇に期待すること】

医療と健康のためのICTの利活用を推進していくうえで、ICTの最新技術や制度設計に関する研修の場の提供に期待します。また、産学官連携や多くの企業様との情報交換及び交流の機会に大いに期待しております。



2. 個人会員

松澤 良茂 氏

【自己紹介】

（株）エーシーイーシステム勤務。ソフトウェア業界に30年程度携わってますが、技術的にも未熟なまま、管理・営業業務についてもまだまだ・・・しかし、「いつも笑顔でフットワーク軽く、そして腰の据わった仕事」をモットーに前進しています。

【四情懇に期待すること】

ICT利活用について、最新情報様々な活動報告・情報公開していただき、地方にICTを根付かせるための普及活動に尽力いただければ幸いです。





長尾 和彦 氏 (弓削商船高等専門学校 情報工学科 教授)

[自己紹介]

高専では、情報処理教育センター長としてネットワークの構築・運用に関わっており、大変お世話になりました。今回、センター役職を離れるため、個人会員として登録しました。教育面では高専プロコンの運営と指導に関わっています。

[四情懇に期待すること]

高専で学生とシステム開発を進める上で「人の役に立つシステムであること」を最も重視しています。四情懇の取り組みは、地域に根ざした活動を進める道しるべとして、とても重要であると感じています。より一層の会員間の連携を期待しています。



片岡 幸人 氏

[自己紹介]

株式会社 DankSoft、株式会社ソフトビレッジに所属し、高知で複業を実践しています。テレワークで各地のメンバーと協業しながらクラウドを利用したシステム開発を行いつつ、地域でネットワークシステムの構築、IoTサービスの提供などを行っています。

[四情懇に期待すること]

テレワークを活用した複業や、地方のサテライトオフィス勤務などが認知されつつあります。IT技術者の1人として自らが時間・場所に捕らわれない新しい働き方を実践し、情報発信を行い、皆様と情報を共有させて頂ければ幸いです。よろしくお願いたします。



木本 三郎 氏

[自己紹介]

現在、私はインマルサットの衛星通信を使った船舶の通信システムにおいて、高い通信費を削減するシステムを国の補助金をいただいて開発中です。

[四情懇に期待すること]

四国の中小企業をサポートするため、中小企業が保有する多量のデータをITを使って解析して商品のコストダウンや売上向上のシステムを開発したらどうでしょうか。



なお、本コーナーの「企業紹介」、「自己紹介」及び「四情懇に期待すること」の欄は、新規会員の皆様から寄せられたコメントを掲載しています。